

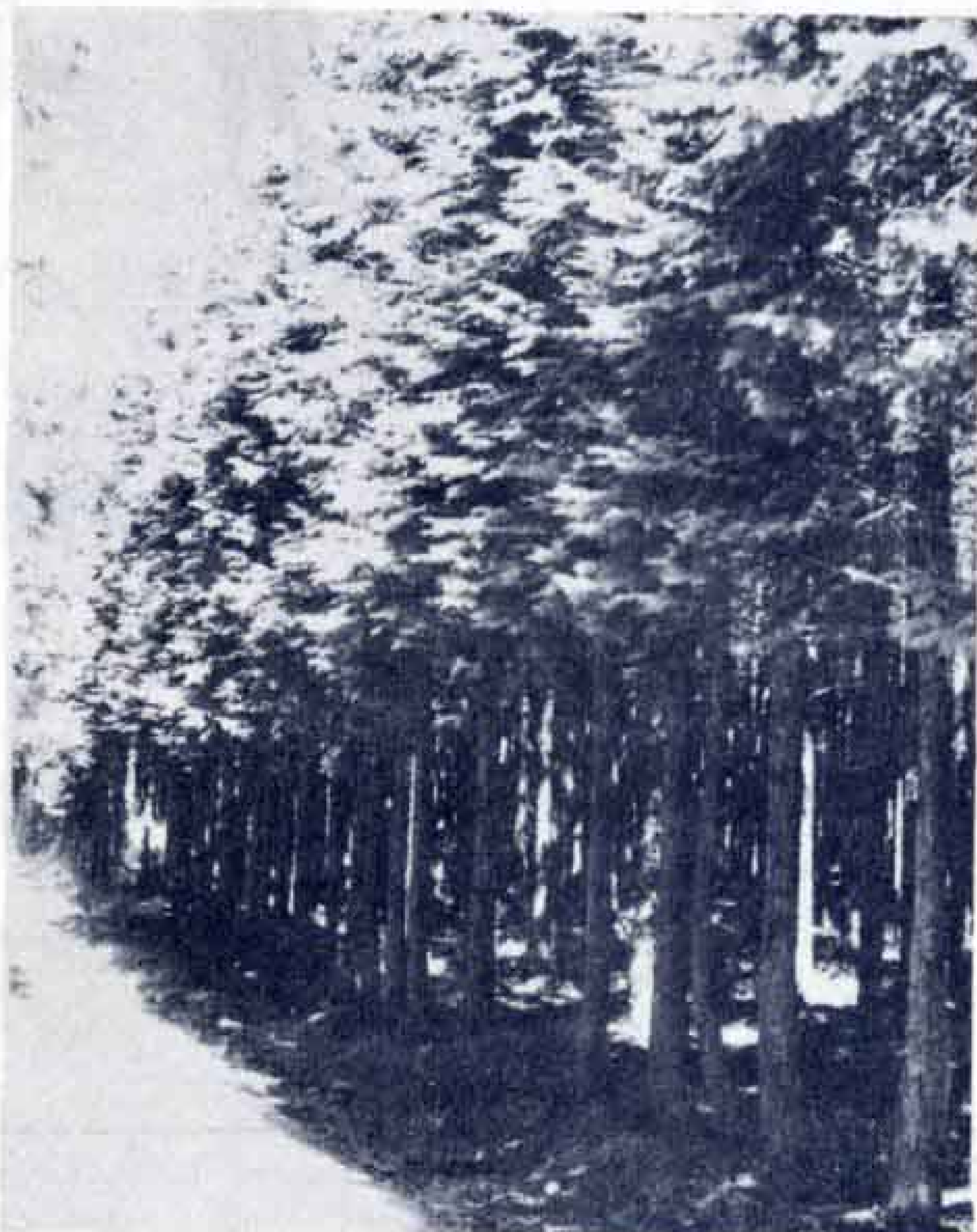
# 優良ヒノキ材の産地に

## 富士市ほか3市1町で林業振興の整備をはかる

### 56年度までに11億円のお金をかけます

「節なしヒノキ柱材」の産地化をはかろうと富士市を始め富士宮、芝川、御殿場、裾野の4市1町の人工林3万ヘクタールの林を中心に52年度から56年度までの向う5カ年の継続事業で、造林林道、治山などの事業を総合的に実施していきます。

この事業は、「富士山麓中核林業振興地域整備事業」で52年度に林野庁の指定を受け、5カ年計画の継続事業で総事業費約11億円が予定されています。



計画によれば、ヒノキ林を中心に「節なしヒノキ柱材」の産地化をはかり、あわせて富士山麓の環境緑化のための造林や伐採、間伐等にも必要な林道開設、改良を行なって地域林業としての発展を計画しているものです。富士市の林業のあらましは、総面積21万5,340畝に対し、50畝にあたる10万8,470畝が山林で、このうち8,658畝が民有林となっており、海拔300畝から1,000畝の間に広

がっています。

地形は、ゆるやかな傾斜地が多く古くから造林が進められ、特にヒノキを中心とした人工林が大半を占め民有林の人工林率は83畝となっています。

また、経営規模は、5畝未満の零細林業が圧倒的に多く、全体（林業家1,650戸）の91畝を占めています。

このうち人工林のスギ、ヒノキの総面積は7,160畝で、35年生以下の手入れを実施しなければならない林が76畝を占め、特に6年生から25年生までの枝打の推進と、3,072畝の16年生から35年生までの間伐等を積極的に行ない立派な林を仕立てます

なお、これらの作業をやりやすくするため、林道の整備や林地保全のための治山事業など、林業基盤の整備をはかっていくことになっています。

【写真・枝打、間伐を行ないきれになったヒノキ林】

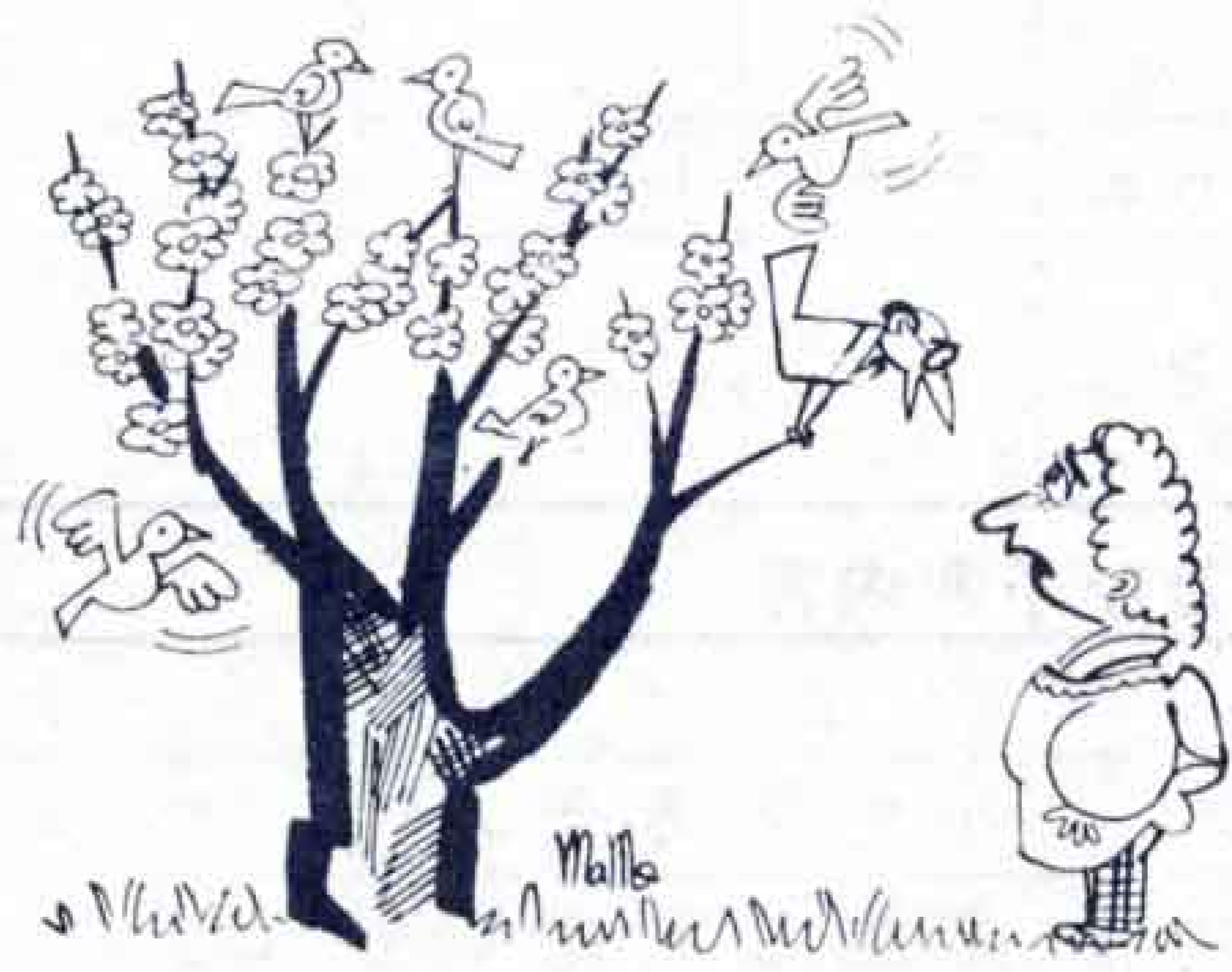
## 静岡県知事選挙について

### 6月18日は 県知事選挙の投票日です

“この一票あなたも政治の発言者、大切な一票です。自分の信念にもとづいて投票しましょう。”

- 告 示 5月24日(火)
- 不在者投票 5月24日(火)から6月17日(土)まで  
毎日午前8時30分から午後5時まで  
市役所7階選挙管理委員会
- 立会演説会 6月7日(水)午後7時から  
富士文化センターホール
- 投 票 日 6月18日(日)午前7時から午後6時まで  
(但し勢子辻は午後4時まで)

富士市選挙管理委員会 電51-0123 内線459.460



選挙が近づくとき……  
事前運動の鳥がとんでくるから鳥をつけよう  
在吉正照